

2. 上記とも関連するが、妊娠中の糖尿病診断基準は非妊時と変えられるべきと思われますか。

答弁 (三重大) 村田 和平

① 今回発表した DM 型は軽症例が多く、そのため DM 型と境界型の pattern が類似したと思われる。

② 糖負荷後の血糖値から考えると、非妊時より遅延傾向があり、正常者でも境界型に含まれる可能性がある。

質問 (神戸大) 望月 真人

脾由来のグルカゴンは OGTT では動かないといわれていますので、IRG のパターンについて結論される場合には IVGT を施行される必要があると考えますが、いかがでしょう。

答弁 (三重大) 村田 和平

症例を増した結果正常型60分、90分、境界型60～180分に抑制がみられました。先生の御指摘通り、脾α細胞の機能を調べるのには、IVGTTを行う必要があると思います。

193. 妊娠個体の糖・脂質代謝と蛋白ペプチドホルモン

(神戸大) 矢守 征雄, 森川 肇

望月 真人, 東条 伸平

生体の糖一脂質代謝は、妊娠によつて大きく変化するといわれていますので、吾々は hCS, Insulin, Glucagon などの蛋白ホルモンが、妊娠個体の糖一脂質代謝をどの様に修飾するかという点について、検討を加えた。

妊娠各時期の正常妊婦80名より、早朝空腹時に静脈血を採取し、血中 hCS, Insulin は2抗体法 RIA で、血中 Glucagon は抗血清30K を用いた charcoal 法による RIA で測定し、血中 Glucose, FFA, TG, β リポ蛋白は、それぞれ Hoffman 法, Ui-Itaya 変法, 酵素法, デキストラン硫酸混濁法で、同時、系統的に測定した。

なお、妊婦の総血漿量は、妊娠全週を通じて変動するので、得られた Data は Hytten (1963) の Data より、換算値を算出し、補正した。

正常妊婦では、妊娠の進行に伴い、高血糖、高脂血を呈する様になり、同時に血中 Insulin, Glucagon, hCS 等の蛋白ホルモンも増加した。

血中ホルモンと血中代謝物質との間及び、血中ホルモン相互間での量的関係では、hCS は Glucose, FFA, TG, β リポ蛋白, Insulin, Glucagon との間で、Insulin は Glucose, TG, β リポ蛋白との間で、有意の正の相関関係を示したが、Glucagon はこれらの代謝物質間で、有意の量的関係を示さなかつた。

これらの成績から、hCS は、母体肝臓でアポ蛋白の合成、糖の放出に作用し、母体脾臓では、Insulin や Glucagon の分泌を亢め、一方、Insulin は、母体肝臓で、TG 合成及びアポ蛋白の合成に作用すると考えられるが、他方、Glucagon の妊娠個体での役割は、全く不明である。

妊娠個体に於ける糖一脂質代謝は、母体が専ら FFA を利用し、Glucose を節約すると同時に胎児胎盤系が糖依存性であることを示しており、特に妊娠後半に於て、脂質がたくわえられるのは、胎児の発育や分娩・産褥のためのエネルギーの蓄積に対する集約された現象と考えることができる。

質問 (岡山大) 江口 勝人

1. 妊婦高脂血症の成因として内分泌環境だけで説明できますか。

2. hCS の低い症例での母体血 FFA は低いのでしょうか。

妊娠経過に伴つて FFA とともにグリセロールも上昇しますか？

答弁 (神戸大) 矢守 征雄

1. 吾々は、蛋白ホルモンから、高脂血症を考えており、他の factor については、検討しておりませんが、他の factor も一因をなすと思います。

2. 一例ずつ検討しておりませんが、統計学的に有意の正の量的関係が認められております。

3. 検討いたしておりません。

質問 (岡山大) 武田 佳彦

TG と IRI が正の相関を示すことの意義について御教示下さい。

答弁 (神戸大) 矢守 征雄

肝での FFA から TG 合成、主にエステル化と思われれますが、Insulin は、この時の酵素を誘導すると思います。

194. 妊娠母体肝の糖・脂質代謝に及ぼすヒト胎盤ラクトーゲンの影響

(神戸大) 出口 正喜, 森川 肇

望月 真人, 東条 伸平

研究目的：妊娠時の代謝調節因子として、ヒト胎盤ラクトーゲン hPL, hCS の意義をさらに追求するために、このホルモンの、肝における糖一脂質代謝に及ぼす影響と、肝細胞膜への特異的結合について検討した。

方法：非妊ならびに妊娠ラット肝を one way 方式で in vivo perfusion し、hCS は灌流中に単回あるいは連続